



# 仕様項目

# タイムチャート

内容		開始	終了	所要時間
説明		14:55	15:20	25分
仕様項目・期待結果の作成		15:20	16:35	75分
①	ここまでの復習	15:20	15:30	10分
②	検索機能の仕様項目・期待結果を出す	15:30	15:40	10分
③	各自の仕様項目を共有・手直しをする	15:40	16:05	25分
④	計算機能の仕様項目・期待結果を出す	16:05	16:20	15分
⑤	各自の仕様項目を共有・手直しをする	16:20	16:35	15分

モデル

機能一覧

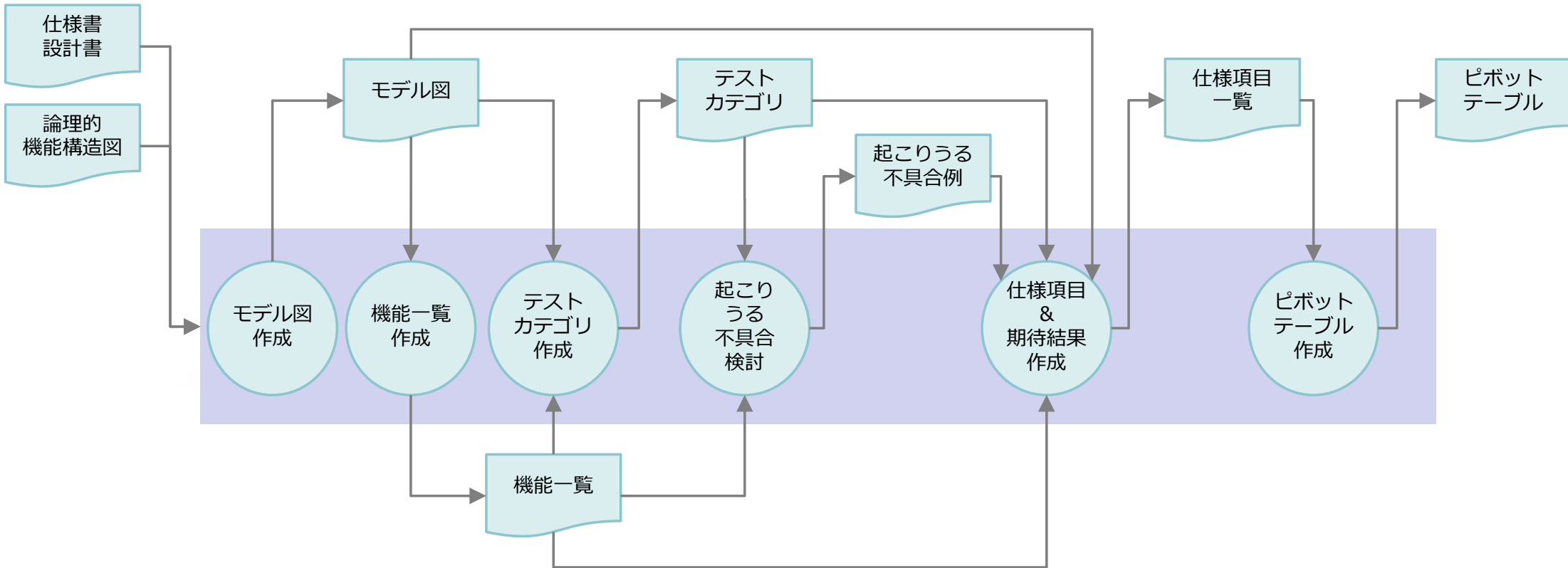
テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

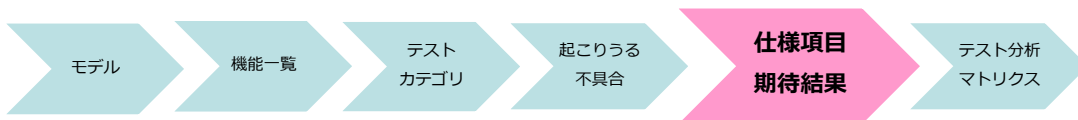
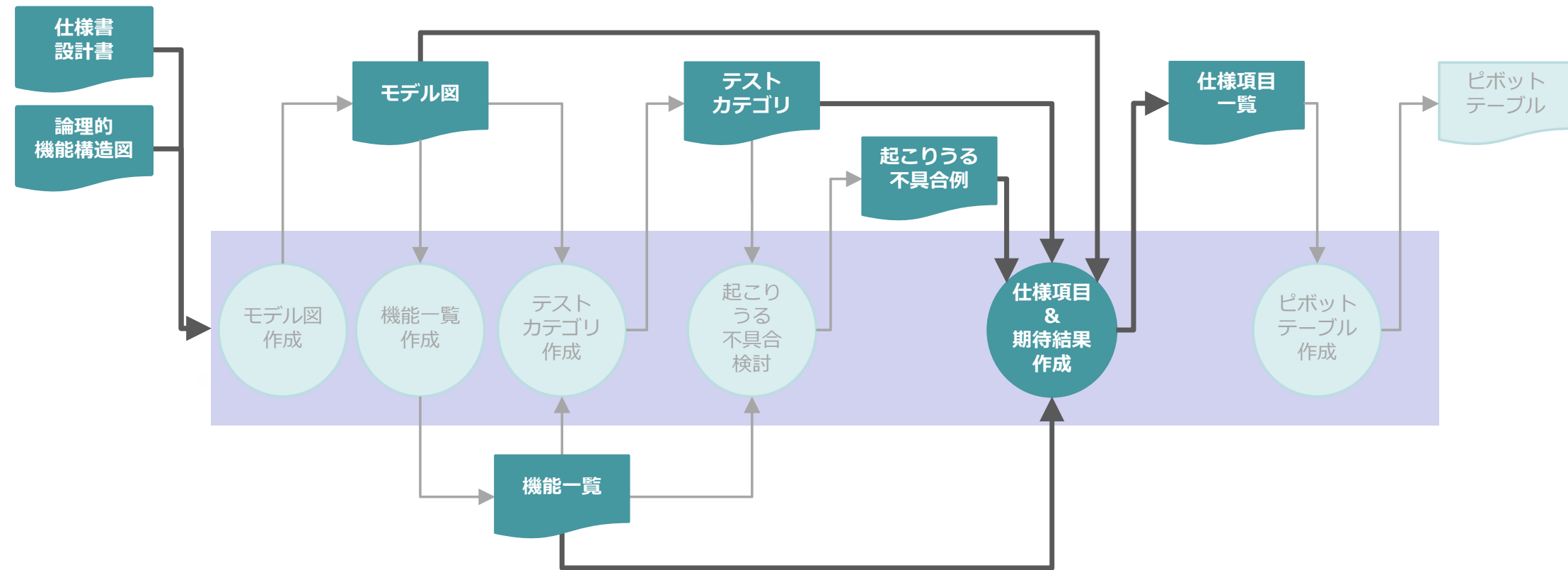
仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス

# プロセス全体像



# 仕様項目 & 期待結果作成



# プロセス説明

- 入力

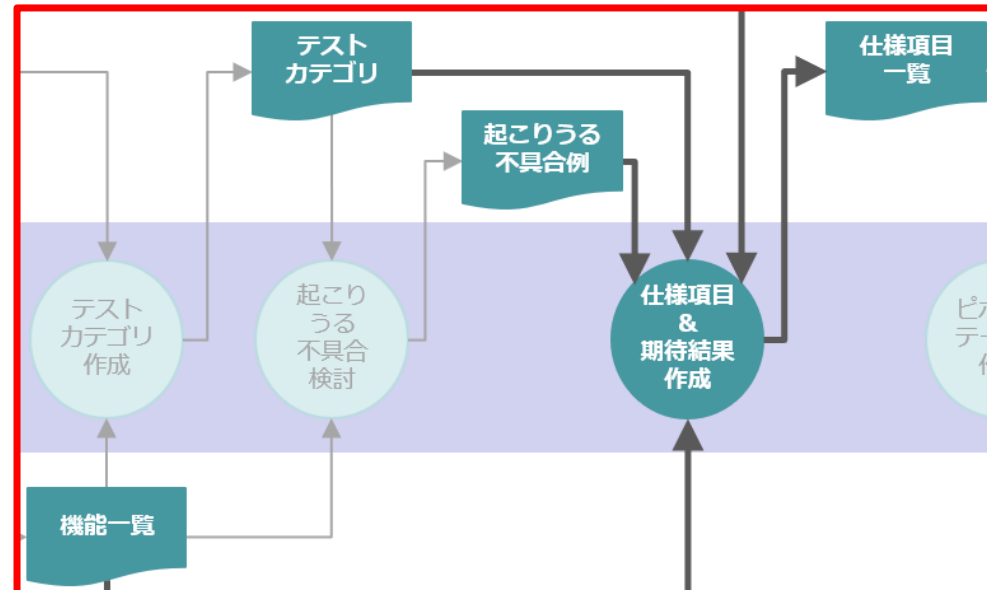
- 機能項目
- テストカテゴリ
- 起こりうる不具合

- 作業概要

- 「機能項目」と「テストカテゴリ」を使って仕様項目と期待結果を出す。

- 出力

- 仕様項目一覧 (表)



# 仕様項目と期待結果

- **仕様項目**とは
  - テスト対象の「何を確認したいか？」をまとめたもの。  
**分析と設計の橋渡しとなるもの**であり、ここまでの作業・成果物は全て仕様項目一覧を作成するためのものです。
- **期待結果**とは
  - 「仕様項目」を「どうやって確認するか？」を明確にしたもの。



モデル

機能一覧

テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス

この次

# 仕様項目と期待結果（が、遠くにあるケース）

## 例：ユーザー登録機能の仕様項目と期待結果

### ユーザー登録画面

GoCo(i)n

ユーザーID: ユーザーIDを入力

パスワード: パスワードを入力

パスワード(確認用): パスワードを入力

ジャスPayID: ジャスPayIDを入力

登録

戻る

仕様項目：  
ユーザーが  
登録されること

### ログイン画面

GoCo(i)n

ユーザーID: ユーザーIDを入力

パスワード: パスワードを入力

ログイン

新規登録

期待結果：  
登録したユーザー  
ID・パスワードでロ  
グインができること

### 計算画面

GoCo(i)n

自分側の人数: 1~99の数値を入力

相手側の人数: 1~99の数値を入力

金額: 1~999999の数値を入力

支払いの割合

自分側 50 : 50 相手側

計算する

結果を登録する

検索する

モデル

機能一覧

テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス

# 仕様項目と期待結果（が、近くにあるケース）

## ● 例：BMI画面の表示の仕様項目と期待結果

仕様項目：  
BMI画面が表示崩れなく表示  
されること



期待結果：  
BMI画面が仕様通り表示されること



# プロセスの目的とメリット

- 目的

- 機能項目をテストカテゴリのレベルで網羅することで、大きなテストの抜け漏れを防ぐ。

- メリット

- テスト分析・設計を思いつきや経験で出す方法と比較すると、ガイドとなるものに従って出すことで、実施者の経験に依らず、チームで粒度の揃った仕様項目（確認したいこと）が出せるメリットがある。

モデル

機能一覧

テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

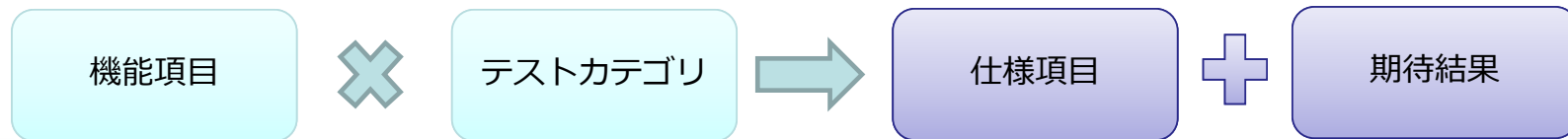
仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス

# 作業概要

## ● 作業概要

- 「機能項目」と「テストカテゴリ」を組み合わせ、  
「仕様項目」と「期待結果」を作成する。

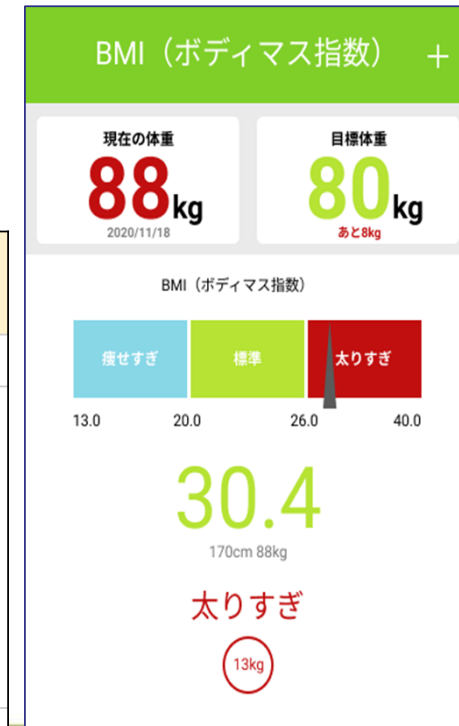


ある機能項目のあるテストカテゴリは、  
複数あることも、一つもないこともある

# 作業詳細：仕様項目・期待結果の作成

● 該当の機能項目を以下のStepで考えます。

- ① 一つだけ試験をするなら、何をする？
- ② 起こりうる不具合を確認するには、何をする？
- ③ テストカテゴリの軸で試験するなら、何をする？



機能項目	仕様整理	テストカテゴリ	仕様項目	期待結果	テスト設計方針	テストパラメータ(PV)
:						
BMI表示	ipadOSは対象外か？	表示	BMI画面が表示崩れなく表示されること	BMI画面が仕様通り表示されること	PVをPairwiseで組み合わせて表示確認する	画面サイズ：スマホ4～6.5 表示モード（ダークモード/ライトモード） 表示文字列：痩せすぎ、標準、太りすぎ 針の位置 BMI値 【確認項目】 書式（フォント、文字色など） 目盛りの数値：BMIメーターの内側の数値
:						

モデル

機能一覧

テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス

# 作業詳細：気づいたことは書き留める

要求元や開発者へ確認したい内容は**仕様整理**に書いて問い合わせ、結果をフィードバックする。

「設計に落とす際の注意点」は**テスト設計方針**に書く。

機能項目	仕様整理	テストカテゴリ	仕様項目	期待結果	テスト設計方針	テストパラメータ(PV)
:						
BMI表示	ipadOSは対象外か？	表示	BMI画面が表示崩れなく表示されること	BMI画面が仕様通り表示されること	PVをPairwiseで組み合わせて表示確認する	画面サイズ：スマホ4～6.5 表示モード（ダークモード/ライトモード） 表示文字列：痩せすぎ、標準、太りすぎ 針の位置 BMI値 【確認項目】 書式（フォント、文字色など） 目盛りの数値：BMIメーターの内側の数値
:						

「テストしてほしいパラメータ・組合せ」は**テストパラメータ**に書く。



モデル

機能一覧

テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス

## 作業詳細：気づいたことは書き留める

テスト設計方針とテストパラメータは、本工程では思いついたものを忘れないように記載するレベルです。本来はテスト概略設計時に再検討します。

※JaSST東北2021では時間の都合上、テスト概略設計は実施いたしません。

テストパラメータに書く。

モデル

機能一覧

テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス



# 作業詳細：アンチパターン

機能項目	仕様整理	テストカテゴリ	仕様項目 (確認したいこと)	期待結果 (どう確認するか)	テスト設計方針	テストパラメータ (PV)
BMI表示		次画面遷移	「+」ボタンを押すことで、体重登録画面に遷移すること	体重登録画面が表示されること	代表値を使用して確認する	体重 日時
BMI表示		次画面遷移	体重登録画面に遷移すること	体重登録画面が表示されること	代表値を使用して確認する	「+」ボタン 体重 日時
BMI表示		次画面遷移	ボタン押下で画面遷移すること	次画面が表示されること	代表値を使用して確認する	トリガー：「+」ボタン 表示項目：体重、日時 遷移先：体重登録画面

仕様項目・期待結果に手順や条件を書くと、細かく（テストケースっぽく）なるので・・・

これくらい大きく書く



# 今まで出てきた色々をまとめると・・・

概念	項目（BMI計算アプリの例）
論理的機能構造	出力調整
テストカテゴリ	表示
想定される不具合	BMIメーターが画面からはみ出す
仕様項目	BMI画面が表示崩れなく表示されること
期待結果	BMI画面が仕様通り表示されること
テスト設計方針	PVをPairwiseで組み合わせて表示確認する
テストパラメータ	画面サイズ：スマホ4～6.5 表示モード：ダークモード、ライトモード 表示文字列：痩せすぎ、標準、太りすぎ 針の位置 BMI値
テストケース	BMIを26（例：身長170cm、体重75.14kg）にし、BMI画面を開く。 肥満度が赤色（太り過ぎ）で表示されることを確認する。

# 仕様項目と期待結果

テスト分析			
機能項目	テストカテゴリ	仕様項目	期待結果
BMI表示	次画面遷移	なし	
BMI表示	入力範囲	なし	
BMI表示	表示	BMIメーターが画面サイズにあわせて表示されること	BMIメーターが表示崩れなく表示されること
BMI表示	表示	BMIメーターにBMI値が表示されること	BMI値の区切りが判定基準通りに表示されること
BMI表示	表示	針が中心からアニメーションする	針が中心からスタートしたアニメーションをする
BMI表示	サウンド	なし	
BMI表示	計算	現在の登録データをもとにBMIを算出する針を表示する	BMI値に針を表示すること
BMI表示	画像変換	なし	
BMI表示	データ操作	なし	
BMI表示	エラーチェック	なし	
BMI表示	アプリ内機能連携	別アプリと連携する	別アプリでBMIメーターが表示されること
BMI表示	別アプリケーション	なし	



モデル

機能一覧

テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス



# ワーク説明

1. ここまでの復習(10分)
2. 「検索機能」の仕様項目・期待結果を出す(10分)
3. 各自の仕様項目を共有・手直しする(25分)
4. 「計算機能」の仕様項目・期待結果を出す(15分)
5. 各自の仕様項目を共有・手直しする(15分)

モデル

機能一覧

テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス

# ワーク説明

## 1. ここまでの復習(10分)

- 一つだけ試験をするなら、何をする？
- 起こりうる不具合を確認するには、何をする？
- テストカテゴリの軸で試験するなら、何をする？

⇒仕様項目・期待結果の出し方と粒度を合わせるのが目的です。

## 2. 「検索機能」の仕様項目・期待結果を出す(10分)

## 3. 各自の仕様項目を共有・手直しする(25分)

## 4. 「計算機能」の仕様項目・期待結果を出す(15分)

## 5. 各自の仕様項目を共有・手直しする(15分)

# ワーク説明

1. ここまでの復習(10分)
2. 「検索機能」の仕様項目・期待結果を出す(10分)  
⇒テストカテゴリで分担して出します。
3. 各自の仕様項目を共有・手直しする(25分)
4. 「計算機能」の仕様項目・期待結果を出す(15分)
5. 各自の仕様項目を共有・手直しする(15分)

モデル

機能一覧

テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス

# ワーク説明

1. ここまでの復習(10分)
2. 「検索機能」の仕様項目・期待結果を出す(10分)
3. 各自の仕様項目を共有・手直しする(25分)  
⇒他のメンバー／モデレータと話し合い、  
粒度合わせや内容のブラッシュアップをしましょう。
4. 「計算機能」の仕様項目・期待結果を出す(15分)
5. 各自の仕様項目を共有・手直しする(15分)

# ワーク説明

1. ここまでの復習(10分)
2. 「検索機能」の仕様項目・期待結果を出す(10分)
3. 各自の仕様項目を共有・手直しする(25分)
4. 「計算機能」の仕様項目・期待結果を出す(15分)  
⇒ 1、2と同じ流れで仕様項目・期待結果を出す。  
1、2のやり方で仕様項目を出せることを確かめます。
5. 各自の仕様項目を共有・手直しする(15分)

# ワーク説明

1. ここまでの復習(10分)
2. 「検索機能」の仕様項目・期待結果を出す(10分)
3. 各自の仕様項目を共有・手直しする(25分)
4. 「計算機能」の仕様項目・期待結果を出す(15分)
5. 各自の仕様項目を共有・手直しする(15分)  
⇒他のメンバー／モデレータと話し合い、  
粒度合わせや内容のブラッシュアップをしましょう。

モデル

機能一覧

テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス

# タイムチャート

内容		開始	終了	所要時間
説明		14:55	15:20	25分
仕様項目・期待結果の作成		15:20	16:35	75分
①	ここまでの復習	15:20	15:30	10分
②	検索機能の仕様項目・期待結果を出す	15:30	15:40	10分
③	各自の仕様項目を共有・手直しをする	15:40	16:05	25分
④	計算機能の仕様項目・期待結果を出す	16:05	16:20	15分
⑤	各自の仕様項目を共有・手直しをする	16:20	16:35	15分

モデル

機能一覧

テスト  
カテゴリ

起こりうる  
不具合

仕様項目  
期待結果

テスト分析  
マトリクス